

# 超絶勝利 ベストを尽くして限界突破

## 第 56 回

### 横浜市立中学校個別支援学級・特別支援学校

## 合同体育祭

今回、56 回目を迎えるこの合同体育祭は、個別支援学級、特別支援学校に在籍する生徒が主役となって活動できる貴重な機会の一つとして、これまで特別支援教育において、重要な役割を果たしてきました。

生徒にとって、体育祭に参加することは、運動に対する自信と喜びを体得するとともに、在籍校では体験できない大きな集団の中で、社会に必要な規律と行動を身につけていく大切な機会となっています。

昨年度からは「横浜こどもスポーツ基金」(事務局:(公財)横浜市体育協会内) ※1 から物品やアスリートの招へいなどの支援をいただいております。今年度は会場に日本体育大学のダブルダッチチーム「Wirklich (ヴィルクリッヒ)」 ※2 をお招きすることになりました。

学習発表会、学芸会でもよく演目となるダブルダッチを、当日は生徒たちも実際に体験することができます。この貴重な体験を通して、生徒たちが成長できればと思います。

昭和 33 年から続く伝統的な行事でもあります。どうぞ、この機会に、参加生徒たちの「がんばり」をご覧ください。

- 1 日時 平成 27 年 10 月 1 日 (木) 午前 9 時 30 分 開始  
※ 雨天予備日 平成 27 年 10 月 2 日 (金)

- 2 会場 三ツ沢陸上競技場 (メイントラック)

- 3 スローガン 『超絶勝利 ベストを尽くして限界突破』  
(生徒からスローガンを応募し決定しました。)

- 4 内容 個人競技: 50m 走、100m 走、ボール投げ、幅跳び  
持久走 (男子 1,500m・1,200m、女子 1,200m)、  
団体競技: 400m リレー (男子、女子、混合)



※詳細は別添プログラムのとおり



## ※1 横浜こどもスポーツ基金

「横浜こどもスポーツ基金」は、障害のあるこども達等へ「スポーツ」を通じて、夢と希望を持って育ち、身近な地域でスポーツ活動に参加できる環境作りを行うことを目的に創設されました。

この目的を達成するため、横浜で開催されるさまざまなスポーツ活動をきっかけに、資金、寄付金の収集や関連イベントの開催、また各種団体が行う事業、イベント等への支援（寄付・助成等）活動を行い、障害者スポーツ等のより一層の推進を図ります。

この「横浜こどもスポーツ基金」は、「横浜トライアスロン」をきっかけに、ジョンソン株式会社からの寄付により誕生しました。

事務局：(公財)横浜市体育協会内

## ※2 日本体育大学学友会ダブルダッチチーム 「Wirklich (ヴィルクリッヒ)」

日本体育大学学友会ダブルダッチサークルは、現在 110 名ほどの部員がおり、たくさんのチームで構成されています。「Wirklich (ヴィルクリッヒ)」はそのチームの一つです。部員の中で経験者は約 1 割程度ですが、毎年世界大会に出場しています。

毎週火・木・土に全体練習があり、それ以外にもダブルダッチ普及のために、様々なイベントに参加しています。今回の体育祭では、私たちの演技で皆さんを驚かせます！

(大会実績)

ADDL (AMERICAN DOUBLE DUTCH LEAGUE) オープン部門

シングルス、ダブルス、ツインズの 3 部門で優勝

(※こちらについては他のチームの実績ですが、本年度現時点での日本体育大学学友会ダブルダッチサークルの最高実績になります。)

※ 取材を希望される場合は、前日までにご連絡ください。

お問合せ先		
教育委員会事務局特別支援教育相談課長 (横浜こどもスポーツ基金に関するお問い合わせ)	和内 正也	Tel 045-333-1454
公益財団法人横浜市体育協会スポーツ事業部長	植木 克典	Tel 045-640-0049